

平成 30 年度「全国学力・学習状況調査」結果

廿日市市立津田小学校

平成 30 年 4 月 17 日 実施 (6 年生)

| 教科 | 国語A | 国語B | 算数A | 算数B | 理科 |
|-----|-----|-----|-----|-----|----|
| 本校 | 74 | 61 | 59 | 50 | 60 |
| 広島県 | 73 | 59 | 66 | 54 | 63 |

A・・・主として「知識」に関する問題 / B・・・主として「活用」に関する問題

| | 結果から見えてきた重点課題 | 指導方法等の改善内容 |
|----|--|--|
| 国語 | <ul style="list-style-type: none"> ○相手や目的に応じて伝えたいことが伝わるように 主語と述語との関係などに注意して文を正しく書くこと。 ○目的や意図に応じて内容の中心を明確にして、詳しく書くこと。 | <ul style="list-style-type: none"> ○書く時だけでなく、文章を読むときにも主語と述語との関係を意識して読み取るように指導していく。また、児童が自分で書いた文章について、主語と述語との関係にねじれがないかなど、推敲する力を育てる。 ○読んだ本についての「推薦文」(カード作り) などに取り組み、推薦理由や自分の考えを明確にして他者にわかりやすく伝える文章を書く機会を設定する。 |
| 算数 | <ul style="list-style-type: none"> ○問題場面における2つの数量関係を理解したり、数直線上に表したりすること。 ○グラフと情報を関連づけて読み取り、読み取ったことを言葉や数を用いて説明(記述)すること。 | <ul style="list-style-type: none"> ○2つの数量の対応関係や大小関係を捉えるために図や数直線に表わして思考する活動を仕組む。 ○グラフから数値を読み取って考えたり、グラフといろいろな情報を組み合わせて考えたりする活用問題に取り組み。読み取ったことをグラフの数値や情報の中の言葉を使って説明(記述)し、それを伝え合う活動を通して、説明する力をつける。 |
| 理科 | <ul style="list-style-type: none"> ○予想が確かめられた場合に得られる結果を見通して実験方法を考えたり、実験結果を基に考察したことを記述したりすること。 | <ul style="list-style-type: none"> ○どのような予想を確かめる実験なのかや実験で確かめられる結果の見通しなどを児童同士で話しあう活動を仕組む。また、観察や実験の結果から「事実」(条件と結果)と「解釈」(結果から考えられること)の両方を整理して、理科の用語を使って、自分でまとめ(記述)したり、他者に説明したりする活動を仕組む。 |

